

池田学

佐賀県多久市生まれの画家。東京藝術大学大学院修了後、2001年、文化庁芸術家在外研修員としてカナダ・バンクーバーに滞在し、現在は日本、カナダ、アメリカなどを拠点として活動している。池田の絵画は、一貫して丸ペンとカラーインクでさまざまなサイズの紙に細密に描かれる。全体の下絵は描かずにイメージしながら緻密に描いていくため、1日に描けるのは、たった10cm四方ほどであるという。作品は、植物や山、海などの自然物に加え、建物などの人工物や人々が、縦横無尽に広がり、次々にストーリーが展開していく面白さがある。作品「誕生」は、チェゼン美術館（アメリカ）で3年をかけて制作された。人間が自然災害とどう共存していくべきなのか、またその被害からどう立ち直っていくのかをテーマに、一本の大木を中心にして、様々な物語が重なり合う絵画である。